

議員提出議案第2号

ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等を求める意見書

このことについて、次のとおり、内閣総理大臣及び厚生労働大臣に意見書を提出する。

平成23年9月22日

提出者	三朝町議会議員	福田茂樹
賛成者	三朝町議会議員	藤井克孝
賛成者	三朝町議会議員	横木文雄
賛成者	三朝町議会議員	平井満博
賛成者	三朝町議会議員	吉田文夫
賛成者	三朝町議会議員	遠藤勝太郎

ポリオ不活化ワクチンの早急な導入等を求める意見書

近年、予防接種行政において、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン等の接種が国の責任において実施され、子どもたちが無料で受けられるようになったことは、住民の福祉と健康の増進に直接責任を負う自治体として大変歓迎するものです。

しかし、我が国の予防接種行政は、先進国の中でも遅れた状態にあります。とりわけ、かつて大流行したポリオの予防接種に、いまだ生ワクチンが使用されており、国内では生ワクチンの接種が原因のポリオ患者が年に数人発生しています。また、生ワクチンの接種は人体内でウイルスが変異を起こし、強毒化する危険も指摘され、免疫獲得率の低い世代が親になって、我が子からの感染も懸念されていることに対し、一日も早い改善を求めるものです。

厚生労働省は来年度からのポリオ不活化ワクチンを導入する見通しを示されましたが、来年度の実施を待っては、生ワクチン接種による患者の発生は

防げないことになってしまいます。未来を担う子どもたちが、ポリオによる障がいを負ってはならないと考えます。

つきましては、本議会は、国会及び政府に対して下記事項について強く求めるものです。

#### 記

- 1 予防接種におけるポリオ不活化ワクチンは、来年度を待つことなく早急に導入してください。
- 2 ポリオ不活化ワクチンの生産体制が整うまでは、緊急輸入により対応してください。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成23年9月22日

鳥取県東伯郡三朝町議会